

— 會 務 報 告 —

第 2 回 通 常 總 會 並 に 記 念 講 演 會 記 事

康 德 9 年 10 月 21 日 午 後 2 時 よ り 新 京 特 別 市 大 同 大 街 大 陸 科 學 院 講 堂 に 於 て 第 2 回 通 常 總 會 並 に 記 念 講 演 會 を 下 記 次 第 に 依 り 開 催 す。

通 常 總 會 次 第

1. 開 會
2. 國 民 儀 禮
3. 會 長 換 撈
4. 康 德 8 年 度 事 業 並 に 決 算 報 告
5. 特 定 期 間 中 入 會 金 免 除 に 關 する 件
6. 役 員 選 舉 の 結 果 報 告
7. 閉 會

出席者 193 名 (委任状共)

會 長 平 山 復 二 郎 君 議 長 席 に 着 き 開 會 を 宣 し 下 記 の 通 り 報 告 出 席 會 員 の 承 認 を 得 たり。

◎ 會 長 換 撈

會 長 平 山 復 二 郎 君 換 撈 を な す。 要 旨 (省 略)

◎ 康 德 8 年 度 事 業 並 に 決 算 報 告

警 記 長 佐 藤 九 郎 君 よ り 下 記 の 通 り 報 告 す。

8 年 度 の 事 業 及 決 算 報 告 は 御 手 許 に 差 上 げ て あ り ま す 印 刷 物 に 據 り 概 略 御 承 知 願 ひ ま し て 私 か ら 改 め て 申 上 る 事 を 消 略 さ せ て 戴 き ま す が 1 年 の 實 際 事 務 遂 行 状 態 に 就 き 申 上 ま す と 8 年 度 は 本 會 の 基 礎 會 員 と も 申 し ま す 日 本 土 木 學 會 々 員 及 滿 洲 土 木 研 究 會 々 員 を 1 月 末 現 在 を 以 て 本 會 々 員 と し て 引 續 き 實 際 の 活 動 を 開 始 し た の で あ り ま し て 先 事 務 の 整 備 に 専 念 す る 一 方 會 の 運 營、活 動 上 は 非 共 必 要 と し ま す、財 政 の 確 立 に 重 點 を 置 け ば な ら ず 之 に 併 行 し て 順 次 事 業 を 行 っ て 參 っ た 機 会 次 第 で あ り ま し て 事 業 と し て は 遺 憾 な が ら 充 分 な る 業 績 を 擧 げ る 事 が 出 來 な か っ た の で あ り ま す 其 型 御 諒 承 願 ひ ま す。

次 に 8 年 度 財 政 状 態 は 御 覽 に 供 し ま し た 決 算 報 告 書 の 通 り で あ り ま し て 豫 算 收 支 額 に 對 し 決 算 額 の 差 が 相 當 ひ ら き が あ り 縮 減 と 成 っ て 居 り ま す が 之 は 創 立 當 初 の 事 で

あり特に定まつた財源もなく又何等對照すべき資額がない爲事實確實を見込み難き目標豫算とも云ふべきものであつたのであります然し極力特別會員の募集等に依り會の活動資金獲得に努力し他面支出方面を出來得る限り節減堅實なる運營を實行しました結果が報告書の如くに成つたのであります少しく御説明申上て見ますと繰越金合計額が 13,845 圓 75 錢に對する内容は日本土木學會納附金第 3 期分(之は日本土木學會から發行會誌代であります) 5,258 圓 70 錢と創立資金として一時借入金 2,000 圓計 7,258 圓 70 錢が未拂及未返済と成つて居りますから此を繰越金總額から差引ますと實際は 6,587 圓 5 錢剩餘金と成る譯であります、收支各科目とも金額が總體的に相當小さく成つて居りますが内容は極めて良好の決算と申上られます之は偏に關係各方面の本會對する理解と絶大なる御援助の御益と存じ皆様と共に感謝致度い次第であります、簡單でありまが之を以て康德 8 年度事業並に決算報告と致します。終り

康 德 8 年 度 事 業 報 告 (自 康 德 8 年 1 月 1 日 至 12 月 31 日)

(1) 會 議

1. 總會 1 回 第 1 回 通 常 總 會 於 新 京 日 滿 軍 人 會 館
2. 經 事 並 常 議 員 會 同 役 員 會 7 回 於 新 京 市

(2) 事 業

1. 工 事 議 員 制 度 改 善 研 究 委 員 會 設 置

2 月 29 日 役 員 會 に 於 て 上 記 委 員 會 設 置 を 決 議 下 取 願 君 を 委 員 に 委 嘱 並 研 究 項 目 に 關 し 委 員 會 及 幹 事 會 を

開 催 せ り (○ 印 は 幹 事)

委 員 長 平 山 復 二 郎

委 員 永 井 了 吉 君 ○ 長 澤 圭 吾 君 名 須 川 秀 二 君
風 間 武 雄 君 ○ 高 松 信 一 君 清 水 三 藏 君
重 住 文 男 君 ○ 武 富 実 春 君 本 間 龍 雄 君
中 島 時 雅 君 ○ 橋 内 德 治 君 伊 知 地 綱 彦 君
黒 田 重 治 君 笠 原 秀 彦 君 高 島 幸 之 祐 君
高 橋 誠 一 君 廣 崎 行 雄 君 西 川 謙 一 君

鈴木長明君岩井寅藏君青木金作君
福塚清君平野重哉君○内田弘四君
○森町新平君○佐藤九郎君

研究審議項目

- イ、工事統制に関する件
- ロ、請負者統合に関する件
- ハ、日本刑法改正に伴ふ統合に関する件
- ニ、請負の業務範囲に関する件
- ホ、請負工事実施方式に関する件
- ヘ、請負者設備に関する件
- ト、請負者制度に関する件

編輯委員会

本委員会は委員会を3回開催本年2月機關誌土木満洲を創刊號第1巻第1號を發刊し引續き年度内に9號發行せり

土木講習會

1月29日より6日間に渡り下記の如く新京協和會館に於て開演出席者550餘名にして盛會裡に終了す

第1日

滿洲に於ける都邑計畫の實際

交通部 山崎善次君

客貨車停車場に関する概念

滿鐵+道總局 白髮宗雄君

航空港に関する二、三の問題に就て

交通部 羽中田參次君

第2日

滿洲國の水力開發

水力電氣建設局 瀧尾一久君

滿洲鐵道と技術者の使命

弘報處 武藏富男氏

橋梁に就いて

滿鐵+道總局 岡本大一君

築堤に就いて

交通部 橋内徳治君

第3日

營口港修築に就て

交通部 蓮尾誌藏君

北海道土地改良事業に就て

北海道廳 仁木信恭君

水理試験に就ての所見

内務省 橋田眞平君

自動車専用道路設計法に就て

交通部 瀬戸政章君

第4日

漢口改修工事に就て

朝鮮總督府 中島強君

時局下に於ける橋梁の施行に就て

内務省 鈴木清一君

滿洲土地開發事業

開拓研究所 内藤利貞君

4. 見 學 會

イ、1月26日上記土木講習會第5日目を見學會とし有志120名を以て(バスの都合上止むなく人員を制限す)吉林市外第二松花江豐滿水力發電ダム工事現場を見學す。

ロ、10月4日第1回總會開催附帶事業として大隈專院・航空寫眞院等を見學す参加者25名なり

5. 學術講演會

11月25日午後1時より日滿軍人會館に於て下記通り開催す

梅園形トンネル周圍に於ける壓力狀態に就て..... 滝井利一郎君

「ソイルセメント」工法に依る舗裝工事に就て..... 羽中田參次君

滿洲國河川に對する流速公式..... 永井莊七郎君

滿洲國に於ける道路交通經濟と道路期計畫..... 瀬戸政章君

ポルトランドセメントに依る路床土安定法の研究..... 前田 稔君

第1種 土壤補強と安定強度との關係に就て..... 太田長四郎君

營口港に於ける河口門洲に就て..... 久保義光君

氷に関する研究..... 大野祐武君

堤防用特殊セメントに就て..... 佐藤大郎君

6. 講演と映畫會

10月3日新京日滿軍人會館に於て第1回通常總會に關連下記に於て講演と映畫會を開催せり

滿洲鐵道網の發達に就て..... 佐藤大郎君

滿洲國々士計畫に就て……………沼田征矢雄君

1. タコマ橋墮落記録映畫 1巻 2.快走路 2巻 3.海

タコマ橋の墮落に於て……………青木楠男君

外ニニュース1巻

以上

映 畫

會 員 種 別	康徳8年度1月末土木 研究会並日本學會 會 員 數	康徳8年度12月末現在 會 員 數	備 考
名 譽 會 員	0	3	3増
贊 助 會 員	0	0	0
特 別 會 員	0	44	44増
正 會 員	387	550	163増
准 會 員	618	582	36減 正會員に轉格に よる
學 生 會 員	137	163	26増
副 會 員	1,275	1,250	25減 移轉先不明其他
計	2,417	2,592	175増

康 徳 8 年 度 歳 入 出 決 算 報 告 書

科 目		歳 入 之 部 (増 減 △)					説 明
款	項	豫算現額	調定済額	収入済額	収入未済額	豫算収入差	
會 費		54,170.00	45,036.73	39,187.85	5,304.41	△14,982.15	
	個人會費	16,000.00	24,436.73	13,987.85	5,004.41	2,937.85	本項増加は當初豫定より會員増加による
	特別會費	35,670.00	20,550.00	20,250.00	300.00	△15,420.00	
	贊助會費	2,500.00	0	0	0	△2,500.00	
交 付 金		5,000.00	0	0	0	△5,000.00	
	贊助金	5,000.00	0	0	0	△5,000.00	
雜 收 入		5,500.00	6,022.78	6,022.78	0	522.78	
	寄附金	3,000.00	3,000.00	3,000.00	0	0	
	入會金	500.00	0	0	0	△500.00	本項の収入なかりしは第1回通常總會の決議に依り免除したる爲なり
	廣告料	2,000.00	1,620.00	1,620.00	0	△380.00	本項の減少せしは豫定より廣告なかりしに依る
	雜入	0	1,402.78	1,402.78	0	1,402.78	本項は當初豫算なかりしも基金不足のため一時借入金及講習會収益金其他の會費收入並に利息等を認定したるによる
繰 越 金		0	137.93	137.93	0	137.93	
	繰越金	0	137.93	137.93	0	137.93	本項當初豫算になかりしも康徳9年度第1回通常總會決議(康徳7年度繰越金)
	計	64,670.00	51,197.44	45,348.56	5,304.41	19,321.44	

			出 之 部 (増 減 △)				
科 目	科目	用途	増 減 額	豫算現額	支出済額	豫算支出差	説 明
事務費				7,970.00	2,967.36	5,002.64	
	事務所	所費	0	1,200.00	0	1,200.00	本項餘は事務所設置見合せたるによる
	備品	費	0	1,600.00	751.35	848.65	
	文具	費	0	300.00	56.92	243.08	
	消耗	費	0	1,000.00	280.20	719.80	
	用品	費	0	370.00	124.76	245.24	
	通信	費	0	1,000.00	733.99	266.01	
	印刷	費	0	2,000.00	802.94	1,197.06	
	雜	費	0	500.00	217.20	282.80	
諸給與				14,520.00	9,263.50	5,256.50	
	人件	費	0	10,440.00	6,220.47	4,219.53	
	賞旅	費	△ 480.00	3,000.00	2,083.00	917.00	本項より旅費へ流用
			480.00	1,080.00	960.03	119.97	本項は豫定以上の旅費を要し豫算に不足を來し賞與より流用せり
事業費				0	1,500.00	0	1,500.00
	講習會	費	0	1,000.00	0	1,000.00	本項の殘餘は講習會收支決算の結果収益ありたるによる
	其	他	0	500.00	0	500.00	
總會費其他				0	2,000.00	1,421.87	978.13
	總會	費	△ 400.00	1,000.00	514.41	85.59	本項より其他費へ流用す
	其	の	400.00	1,000.00	907.46	92.54	本項は豫定以上の會費を要し豫算に不足を來し總會費より補充せり
會報費				0	23,000.00	12,255.88	10,744.12
	機關誌	費	0	23,000.00	12,255.88	10,744.12	
學會納附金				0	11,180.00	5,094.20	6,085.80
	學會納附金		0	11,180.00	5,094.20	6,085.80	本項の殘餘は第2期分納附金延期したるによる
積立金				0	1,500.00	1,500.00	0
	基本	金	0	1,000.00	1,000.00	0	
	退職	積立	0	500.00	500.00	0	
一時借入金及還金				0	2,000.00	500.00	1,500.00
	一時借入金及還金		0	2,000.00	500.00	1,500.00	本項の支出は本年度臨時借入金支出したるによる
豫備金				0	1,000.00	0	1,000.00
	豫備	費	0	1,000.00	0	1,000.00	本項の殘餘は他項目豫算充分なるによる
	計		0	64,670.00	33,002.81	31,667.19	
收 入 計				45,848.56	收 入 之 部		
支 出 計				33,002.81	支 出 之 部		
差 引 計				12,845.75	繰 越 金 之 部		
積 立 金 計				1,500.00	〃		
繰 越 金 計				13,845.75	〃		

◎特定期中入會金免除ノ件

(本會は康徳10年1月1日より康徳10年12月末日迄に新に入會を承認せられたる正會員、准會員、學生會員、副會員に對し滿洲土木學會規則の規定に拘らず特に入會金の納付を免除することを得)

◎役員選挙の結果報告

本日の通常總會を以て任期満了となります會長1名副會長1名常議員7名住居移動の爲失格せる常議員2名計11名に對する役員選挙を定款第21條及規則第19條に據り都合に依り期日が遅れましたが9月15日附文書發送10月10日投票期日として選挙を実施致しまして常議員會に於て開票しました結果御手許に差上げました通りの諸氏が當選致しました。

尙投票數は正會員720名に對し206通の投票状態でありました以上が役員選挙の結果報告であります。

當選新役員を代表會長に當選しました坂田昌亮氏を御紹介御挨拶をして戴く事と致します。

役名	投票數	結果	氏 名
會 長	203票	當選	坂 田 昌 亮君
	5票	次點	鈴 木 長 明君
副會長	196票	當選	鈴 木 長 明君
	2票	次點	宇 木 甫君
常議員	205票	當選	吉 川 宥 直君
〃	204票	〃	藤 原 健 二君
〃	204票	〃	宇 木 甫君
〃	204票	〃	具 島 太 三 郎君
〃	202票	〃	高 野 興 作君
〃	201票	〃	照 井 隆 三 郎君

其 他

優秀論文審査委員會

日 時 康徳9年9月14日午後5時
場 所 科技研本部會議室
出席者 町田委員長、照井、小林、瀬戸、羽中田、各委員、演主事、

優秀論文審査方針詳細に關しては既に本委員會開催

〃	200票	〃	平 川 保 一君
〃	200票	〃	辰 村 國 治君
〃	199票	〃	福 島 三 七 治君
〃	3票	次點	岩 井 寅 藏君
〃	3票	〃	小 味 淵 肇君
〃	3票	〃	羽 中 田 參 次君

(以上)

坂田君當選新役員を代表一條の挨拶あり第3回通常總會議事を終り續いて記念講演と映畫會に移る。

記念講演會順序

1. 技術問題に於ける考方に就て 會 長 平山復二郎君
2. 堰堤築造の實際に就て 正會員 空閑徳平君
3. 實務技術家と理論 正會員 鶴岡鶴吉君
4. 映 畫

イ 鴨綠江ダム2巻

ロ 孤逸映畫 (良き道路は國民を幸福にする1巻快走路2巻)

以上講演及映畫を終りし有志晚餐懇親會を中銀俱樂部に於て開催出席者33名9時30分散會す。

特に梅野名譽會員の出席を得て同氏を中心に種談す。

22日吉林水力電氣建設局第3松花江豐滿ダム現場見學當日は總會當日よりの大雪降の爲鑑定人員より減少したれ共下記諸君参加せり

見 學 者 名

平山復二郎君重往文男君平川保一君柏木好文君關盛治君中村作太郎君藤江五月君荒井利一郎君宇野良平君遠藤加壽君會田東二君菊川辰次郎君細野芳彦君(外職員3名 計18名)

記 事

前各委員に對し文書を以て通知し當日は各委員より採點表を提出(欠席者は郵送のこと)することとなりをりたる爲之を取極め審議の結果下記の通り審査決定し町田委員長より後日常議員會に報告することとし6時30分散會す。

記

1等 1編 賞金 100圓

自動車専用道路の設計特に線形理論に就て

交通部國防道路建設處 正會員 瀬戸政章君

2等 2編 賞金 50圓宛

1. 航空港土木

交通部航空司 正會員 羽中田參次君

2. 中壁を有せざる精圓形井筒の解法

滿鐵×道總局建設局 正會員 柴田直光君

(以上)

第5回理事常議員會

日時 康總9年10月21日正午

場所 滿鐵新京支社重役會議室

出席者 平山會長、坂田、本間副會長、重住、坂上理事、溝江、具島、大野、浮州常議員、佐藤書記長、濱主事、

協 議 事 項

1. 役員選舉投票の開票

開票の結果下記の通り當選を決定す

會 長	203票	當選	坂 田 昌 光君
	5票	次點	鈴 木 長 明君
副會長	198票	當選	鈴 木 長 明君
	2票	次點	宇 木 甫君
常議員	205票	當選	吉 川 宥 直君
〃	204票	〃	藥 原 德 二君
〃	204票	〃	宇 木 甫君
〃	204票	〃	具 島 太 三 郎君
〃	202票	〃	高 野 與 作君
〃	201票	〃	照 井 隆 三 郎君
〃	200票	〃	平 川 保 一君
〃	200票	〃	辰 村 國 治君
〃	166票	〃	福 島 三 七 治君
〃	3票	次點	岩 井 寅 藏君
〃	3票	〃	小 味 淵 隆君
〃	3票	〃	羽 中 田 參 次君

2. 第2回通常總會準備報告

總會次第、記念講演と映畫會、懇親會、見學會等の機狀概況を佐藤書記長並に濱主事より報告す

3. 優秀論文審査並受賞者決定の件

7月以降町田編輯部長を委員長として康總8度中に土木滿洲に掲載したる論説記事全般より滿洲の土木會に寄與したる處大なるものと認むる優秀論文審査委員會の結果に就き町田委員長缺席の爲佐藤書記長より報告委員會の審査原案通り下記論文執筆3君に賞金を授與する事を決定せり。

1等 1編 賞金 100圓

自動車専用道路の設計特に線形理論に就て

交通部國防道路建設處 正會員 瀬戸政章君

2等 2編 賞金 50圓宛

1. 航空港土木

交通部航空司 正會員 羽中田參次君

2. 中壁を有せざる精圓形井筒の解法

滿鐵×道總局建設局 正會員 柴田直光君

4. 新入退會轉格會員承認の件

下記の通り承認す

- 新入會員 正會員 藤井軍治君 外14名
准會員 松田義一君 外11名
副會員 酒井香瑞時君 外12名
- 退會×員 准會員 露口忠四郎君
- 死亡會員 准會員 小山繁雄、井上滿藤君
- 轉格會員 學生會員 川口彦祐、權高義孝君を准會員に
准會員 相原龜君外87名を正會員に

5. 其 他

第3回以降の通常總會時期變更に關し意見の交換をなしたるも定款變更其他重要事項なる爲次回役員會に於て尙1層審議し具體的方針を決定することいせり。

第6回理事常議員會

日時 康總9年11月6日午後5時

場所 滿鐵新京支社重役會議室

出席者 坂田會長、坂上、重住理事、内田、浮州、宇木、辰村、照井常議員、佐藤書記長、濱主事、中山(滿鐵)

協 議 事 項

1. 理事互選の件

康總9年10月21日第2回通常總會を以て任期満了となりたる理事總務部長西川總一君、理事編輯部長、町

田義知君兩名の後任理事を定款第19條に依り下記の通り互選決定す。

理事 總務部長 太 野 巖君
 〃 編輯部長 照井隆三郎君

2. 通常總會開催時期變更に關する件
3. 役員選挙期日變更に關する件

上記2件に就ては明年度よりの通常總會開催時期を3月役員選挙期日を3月末日に變更する(役員選挙に限り明年度は此を行はず現役員任期を康徳11年度通常總會迄延長すること)方針を決定明年1月末開催豫定の土木講習會開催期間中適當の日を選び臨時總會を開き此を附議決定し定款並規則を變更することとす。

4. 康徳10年度土木講習會開催の件

佐藤書記長より役員一同に對し從來の開催方法に照し又次回開催に關し隔意なき意見の探察を求め協議の結果太略下記方針を以て開催することに決定す。

開催時期 1月下旬

場 所 記念公會堂

講習期間 1廳4日間(内1日見學會)として計畫すること但科目内容及講師等の都合に依り5日間とするも此を認むること。

講 師 日本内地、朝鮮、北海道、北支等關係當局に對し從來通り派遣方依頼すること。土木業者方面より講師1名推薦方辰村常議員に一任

講習科目 専門外と雖時局講話勞務問題其他土木に關聯性を有し適切と認むるものは適當に時間表に割込むこと。

見 學 會 會期最終日を見學會とし第2松花江水力發電暨滿ダム工事現場を見學することとし水電當局に對する交渉を内田常議員に

一任す。

懇親會 時局に鑑み中止すること
 會費、寄付金其他に對し特別の事情なき限り從來の如き豫定にて準備を進むることとす。

5. 坂田會長より次回通常總會開催の際は附帶行事として土木事業に關する適當の問題を選定し協議會を開催したき意見の探察あり種々懇談し6時20分散會す。

土木滿洲編輯總發會

日 時 康徳9年11月23日午後3時

場 所 交通部治水調査處長室

出席者 照井編輯部長、大島、勝海委員、濱、山田主事、須藤、佐藤(治水調査處)

協 議 事 項

照井新任編輯部長を中心に編輯上の全般に關し種々懇談の結果申合せたる重なる事項下記の通り

1. 編輯部委員會(假稱)設置の件

現編輯委員會の下部組織として實踐體を設け毎月1回會合を開き土木滿洲編輯上の一切に關し編輯委員會に協力活發なる活動に據り會誌内容の充實、改善、毎月定期刊行等を期したき方針を申合す。

尙部員委囑に關しては在新京機關より1名又は

- 2名程度適任者を詮衡することを豫定す。

2. 内容及體裁

内容、體裁共に大體現状を可とするも活字を1段大きく(9ポイント)又時事ニュース、文獻工事報告等掲載すべく努め一方原稿不定並に印刷運延等に關しては特に善處し毎月發行するに努め來春3月號から月初め發行するを目標とすること。

附、上記申合せ事項は來る30日開催する編輯委員會に編輯部外より提案することとす。 以上